

森林・山村多面的機能発揮対策 様式記入例

記入例の見方（文字の色についての説明）

赤色の文字：記入例

青色の文字：記入上の注意

(様式第9号)

協議会の審査会で承認された日以降
かつ事業着手予定日以前の日付

番 号
平成〇年〇月〇日

森林・山村多面的機能発揮対策愛知県協議会
会長 近藤 稔 殿

〇〇の森保全の会 会長 氏名 印

平成〇年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金採択決定前着手届

森林・山村多面的機能発揮対策実施要領の別紙3の第5の7の規定に基づき、別記条件を了承の上、下記のとおり提出します。

記

「活動推進費+各タイプ計+資機
材・施設の整備購入額」を記載

1. 事業費： 〇, 〇〇〇, 〇〇〇円
2. 活動組織名： 〇〇の森保全の会
3. 着手予定年月日： 平成〇年〇月〇日
4. 採択決定前の着手を必要とする理由：教育・研修活動タイプの活動に多くの人に参加できるように気候の安定している〇月中に実施する。この準備等に〇月〇日から取りかかる必要があるため、採択決定前の着手が必要である。

協議会の審査会で承認された日
以降の日付

(別記条件)

1. 採択決定を受けるまでの期間に天災等の事由によって実施した施策に損失を生じた場合はこれらの損失は採択決定前着手届けを提出した活動組織が負担すること。
2. 採択決定を受けた交付金額が採択申請額又は採択申請予定額に達しない場合においても異議を申し立てないこと。
3. 当該施策については、着工から採択決定を受ける期間内においては計画の変更は行わないこと。

(様式第 11 号)

森林・山村多面的機能発揮対策交付金の実施に関する協定書 (例)

森林・山村多面的機能発揮対策実施要領 (平成 25 年 5 月 16 日 25 林整森第 74 号林野庁長官通知) に基づき、〇〇活動組織と森林所有者は、下記のとおり協定を締結する。

記

(目的)

第 1 条 この協定は、地域の森林・山村の多面的機能の発揮のための活動 (以下「活動」という。) が円滑に実施できるよう、その内容等について定めることを目的とする。

(協定期間)

第 2 条 地域共同による活動の協定期間は、協定締結の日から平成〇年〇月〇日までとする。

(協定の対象となる森林)

第 3 条 協定の対象となる森林は、以下のとおりとする。

所在地 〇〇県〇〇町〇〇〇〇 〇〇-〇

面積 〇〇.〇ha

計画図 別紙のとおりとする。

地番は省略せずに
記入する

0.1ha 単位で記入
小数第 2 位以下切捨て

(活動計画)

第 4 条 活動組織が行う活動は、別紙の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書」の 7 に定めるとおりとする。

(その他)

第 5 条 この協定に定めのない事項、又は疑義が生じた場合には、活動組織と森林所有者が協議をして定めるものとする。

上記協定の締結を証するため、活動組織と森林所有者は、本書を作成し、記名押印の上、それぞれ 1 通を保有するものとする。

平成〇年〇月〇日

〇〇活動組織

住所 〇〇県〇〇町〇〇〇〇 〇〇-〇

代表 〇〇 〇〇 印

森林所有者

住所 ○○県○○町○○○○ ○○-○
○○ ○○ 印

住所 ○○県○○町○○○○ ○○-○
○○ ○○ 印

住所 ○○県○○町○○○○ ○○-○
○○ ○○ 印

活動組織（代表者）か森林所有者
が分かるように明記する。

複数の森林所有者と協定を結ぶ場合、森林所有者それぞれと個別に協定を結んでもよい。

(様式第 12 号)

活 動 計 画 書

< 記載事例 >

計画内容に変更があったら、その年月日を記載する

平成〇年〇月〇日策定

〇〇の森保全の会

森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書

1. 組織名

〇〇の森保全の会

2. 所在地

〇〇県〇〇市〇〇1-2-1

活動する森林の所在地ではなく活動組織の所在地を記入

3. 地区の概要、取組の背景等

〇〇市〇〇地区は・・・により、集落で先祖代々守り続けている〇〇の森が荒廃してきた。このため、地域住民（〇人）とNPO法人〇が「〇〇の森保全の会」を設立し、〇〇の森を整備し、間伐体験や炭焼き体験を開催し、地域住民と都市住民の絆の森とし、地域の活性化を進める。

4. 取組概要

〇地区にある〇を中心とした広葉樹林について〇〇の森保全の会メンバーによる雑草木の刈払い、集積、処理場までの運搬を実施。整備後に〇を植林、遊歩道の整備（一部急峻フィールドについては作業委託を実施。0.5ha）。また、一部のフィールドにおける孟宗竹の除去を実施し、チップパーによる処理後遊歩道へ敷設する。対象林地内に炭焼き小屋を整備し、フィールド内の0.5haから炭及び薪ストーブ用の原木の間伐を行い（教育・研修活動タイプと組み合わせ環境教育、間伐体験を実施）、地域内外の住民への炭焼き体験も実施する。

5. 構成員の概要

活動組織がどのような構成員からなっているかを記載

※構成員の居住地（どのような地域から参加しているか）、職種、経歴、所属団体等、構成員の多様性がわかるように記載すること。

〇〇の森保全の会は、主に〇〇市〇〇地区の住民が集まった組織であり、構成員40名のうち35名が同地区の住民である。その他の構成員は〇〇市内他地区が4名、県外1名となっている。本活動組織は地域の住民を核に作られた組織であるため職種は林業、自営業、事務等様々である。所属団体については、森林関係のNPOに所属している者が10名、環境保全に関する市民団体8名などからなる。

6. 地元の自治体、自治会、集落等のニーズに対応するなど地域の活性化への寄与

地元自治会で〇〇の森の荒廃が問題視されており、自治会の中から有志で〇〇の森保全の会を立ち上げて森林整備を行う。〇〇の森は市有林であり、財政状況が厳しい中で、市でも十分な管理が行えていない場所である。このことから、市の方からも協定を結び、地域住民で管理をして貰えるのであればありがたいとの声をいただいている。

7. 年度別スケジュール

取組概要	〇〇年度		〇〇年度		〇〇年度	
1. 活動推進費	林況調査及び活動についての詳細な打合せ					
2. 実践活動	必ず3年間分の計画を記載する。 初めて申請した年度から又は申請する年度から3年間分記載する					
A-1 地域環境保全タイプ (里山林保全)	雑草木の刈払い、集積、処理	3 ha	雑木等保全管理	ha	等保全管理	ha
A-2 地域環境保全タイプ (侵入竹除去、竹林整備)	侵入竹の除去、チップ処理	0.5 ha	侵入竹の除去、チップ処理	1.0 ha	侵入竹の除去、チップ処理	1.5 ha
B 森林資源利用タイプ	炭焼き・薪原木の伐採(空間利用と組み合わせ)	0.5 ha	炭焼き・薪原木の伐採(空間利用と組み合わせ)	1.5 ha	炭焼き・薪原木の伐採(空間利用と組み合わせ)	1.5 ha
C 森林機能強化タイプ	作業道の作設・補修	100 m		m		m
		ha	森林資源利用タイプの活動	1 ha	森林資源利用タイプの活動	1 ha
D 教育・研修活動タイプ	環境教育及び炭焼き・薪原木の伐採体験	1回	環境教育及び炭焼き・薪原木の伐採体験	5回	環境教育及び炭焼き・薪原木の伐採体験	5回
2-1. 間伐等(除伐・枝打ちを含む)実施面積		3 ha		4 ha		4 ha
2-2. 活動を始める時点で長期にわたり手入れをされていないと考えられる森林を整備する面積		2 ha		1 ha		0 ha
3. 資機材・施設の整備	炭焼き小屋整備 薪割り機1台		薪ストーブ1台設置			

※1 延長には森林調査・見回りを除く

※ 人工林だけでなく天然林や竹林についても記入

※ プの 荒廃している場所であれば見込面積を記入すること。

※ 以降はその前年度までの活動により該当する森林の整備を実施している場合はその森林の面積を除外し、その年度に新たに該当する森林の整備を実施する面積を記載する。

8. 森林施業技術の向上の取組及び安全対策（技術講習、安全装備、傷害保険加入等）

講師を招き、対象森林内において間伐方法や伐採木の搬出方法等の森林施業技術に関する研修を実施する。また、刈払い機、チェーンソー等動力機械の使用に関しては、初めて扱う者には事前講習を実施する。作業開始前には、機器の安全点検を行い、作業中においては、一定の距離以内には近づかないよう注意を怠らない。さらに、林地内での作業やイベントを実施する場合には、稼働場所の安全確認等を行い事故の未然防止に努めるとともに、活動者等に対して傷害保険の加入など、安全性の確保を図る。

4年目以降の取組の方向性について記載

9. 4年目以降の活動（森林管理）計画

4年目以降も〇〇の森の保全管理を継続して実施。また、近隣の都市住民からも幅広く維持活動に協力していただける活動を継続し、地域の里山を維持・発展させる予定。

10. 計画図（協定の対象としている区域の図面）

取組の実施箇所の森林計画図を添付すること。森林計画図がない場合は、対象森林の面積が分かる縮尺5,000分の1以上の図面を添付すること。添付した図面に、計画期間中の各タイプの活動内容及び森林経営計画及び森林施業計画の策定の有無を図示すること。また、森林機能強化タイプにおいては、改修等を実施する路網や鳥獣被害防止柵を図示すること。

11. その他

森林計画図や縮尺5,000分の1以上の図面に、協定区域、当年度実施する区域、その地番、タイプ別活動名、面積を明記して添付する。

活動計画における取組についての委託

- ・委託機関名
〇〇森林組合
- ・連絡先（電話番号等）
〇〇〇〇〇-〇-〇〇〇〇
- ・委託時期
28年7月
- ・委託内容（委託する区域の林小班、委託業務の内容（面積、作業の内容）等）
急峻な〇小班的刈払い及び処理作業
- ・委託金額
150,000円

活動を作業委託する場合は、活動組織としての活動を活動計画の中で必ず明記すること。委託契約書もつける。
活動全てを委託することはできない。

森林・山村多面的機能発揮対策愛知県協議会
会 長 近 藤 稔 殿

〇〇の森保全の会
代表 〇〇 〇〇 印

平成〇年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る採択申請書

森林・山村多面的機能発揮対策実施要領（平成 25 年 5 月 16 日 25 林整森第 74 号林野
庁長官通知）別紙 3 の第 5 の 4（イ）に基づき、下記のとおり本林・山村多面的機能
発揮対策交付金の採択を申請する。

対象森林の地番を記載する。なお、対象森林は「森林・山村多面的機能発揮対策実施要領」第 2 の 1 の森林を対象とするが、当該森林が当該事業実施に対して規制がない森林であることを確認する。

1. 活動組織名

〇〇の森保全の会

2. 協定の対象となる森林の位置

〇〇県〇〇市の「5 林班い準林班、ろ準林班 1、2、3 小班、は準林班 1、2 小班、に準林班 3、4 小班」

3. 担当者名・電話番号（連絡がとれる担当者及び電話番号を記載）

〇〇太郎・090-〇〇〇〇-〇〇〇〇

活動推進費は初年度のみ申請

4. 森林・山村多面的機能発揮対策交付金

取組メニュー	交付単価等	森林面積等	交付金総額
活動推進費	15 万円	初年度のみ	150,000 円
地域環境保全タイプ（里山林保全）	16 万円/ha	3ha	480,000 円
地域環境保全タイプ （侵入竹除去・竹林整備）	38 万円/ha	0.5ha	190,000 円
森林資源利用タイプ	16 万円/ha	0.5ha	80,000 円
森林機能強化タイプ	1 千円/m	100m	100,000 円
教育・研修活動タイプ	5 万円/回	1 回	50,000 円
小 計			1,050,000 円
資機材・施設の整備	1/2 以内	300,000 円	150,000 円
資機材・施設の整備（林内作業車、薪 割り機、薪ストーブ又は炭焼き小屋）	1/3 以内	450,000 円	150,000 円
計			1,350,000 円
間伐等（除伐、枝打ちを含む。）の実施 面積		3 ha	

当該年度に長期にわたり手入れをしていなかったと考えられる森林を整備する面積		2 ha	
---------------------------------------	--	------	--

(注1) 面積は0.1ha単位で記入。教育・研修活動タイプの上限は12回。

(注2) 当該年度に長期にわたり手入れをしなかったと考えられる森林を整備する面積は、活動期間内の前年度までに該当する森林の整備を実施した場合は、その森林の面積を除外し、当該年度に新たに森林の整備を実施する面積を記載すること。

5. 事業費（活動推進費+各タイプ計+資機材・施設の整備（購入額））

150,000+480,000+190,000+80,000+100,000+50,000+300,000+450,000=1,800,000 円

記載上の注意

- 面積については、図測又は実測の数値で、0.1ha以上、小数第2以下切捨て。
- 金額は千円未満切捨てた額。
(交付単価) × (面積等) = (交付金総額) となるようにする。
- 小計、計も忘れずに記入する。
- 資機材・施設の整備の森林面積等の欄については、購入予定額を記載
- 「間伐等（除伐、枝打ちを含む。）の実施面積」は、人工林だけでなく天然林や竹林についても入れること
- 「当該年度に長期にわたり手入れをしていなかったと考えられる森林を整備する面積」は見込み面積の数値を記載
- 計画書の当該年度の内容と同じであること。

6. 月別スケジュール

取組内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 活動推進費	←→											
	対象森林の調査、打合せ											
2. 実践活動												
A-1 地域環境保全タイプ (里山林保全)							←→ 雑草木の刈払い					
							←→ 雑草木の集積・処理					
										←→		
A-2 地域環境保全タイプ (侵入竹除去、竹林整備)								作業委託 (雑草木の刈払い・処理)				
										←→		
										←→ 侵入竹の除去・処理		
B 森林資源利用タイプ	←→											
	間伐・炭焼き体験実施 (教育・研修活動タイプと組み合わせ)											
C 森林機能強化タイプ								←→ 作業道の作設・補修				
D 教育・研修活動タイプ	←→											
	間伐・炭焼き体験 (資料作成・標識整備)・実施											
3. 資機材・施設の整備	←→											
	チェーンソー 2台購入											
	←→											
	薪割り機 1台購入											

活動する対象森林が複数ある場合は、各タイプにどこの森林で活動するのか記載しておく

7. 教育・研修活動タイプの講師等 (森林環境教育を実施する場合)

講師等の氏名	取得資格等
〇〇 花子	森林インストラクター (資格)
〇〇 太郎	15年間〇〇森林組合に勤務した経験がある。また、10年間に渡り市が主催する森林環境教育の講座で講義している

(注) 取得資格等を有していない者を講師等とする場合、経歴等知識経験が判断できる事項を記載すること。

<施行注意>

活動計画書、協定及び活動組織の運営に関する規約等を添付するものとする。

(様式第 16 号)

日当等、交付金支出の取組に関する整理番号を記入

平成 28 年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金 (活動記録)

活動記録の写真は、本事業に関する活動行為を記載。「活動実施日時」、「活動参加人数」の欄には、実際に作業を行った時間、参加人数を記入。写真は、活動の内容、規模 (参加人数) がわかるように写す。

活動実施日時			活動参加人数		タイプ	取組	写真番号	整理番号
実施年月日	実施時間		構成員	構成員以外の参加者				
	時間帯	実施時間						
28. 4. 1	8～16 時	8 時間	4 人		活動推進費	対象森林の林況調査	280401	A001
28. 4. 15	10～16 時	5 時間	4 人		教育・研修活動タイプ	資料作成、標識整備、安全性検	280415	A002
28. 4. 20	9～12 時	3 時間	8 人		教育・研修活動タイプ	間伐・炭焼き体験前打合せ	280420	
28. 4. 23	9～15 時	6 時間	8 人	20 人	教育・研修活動タイプ	間伐・炭焼き体験実施 (スタッフ)	280423-1	A003
28. 4. 23	10～14 時	4 時間	8 人		森林資源利用タイプ	間伐・炭焼き体験実施 (森林整備)	280423-2	A004
28. 9. 1	8～12 時	4 時間	10 人	10 人	地域環境保全タイプ (里山保全)	5 林班は準小班 1、2 小班的雑草刈払い	280901	A005
2810. 5	9～12 時	3 時間	4 人		森林機能強化タイプ	6 林班ろ準林班 2、3 小班作業打合せ	281005	
28. 10. 14-1 7	13～16 時	3 時間	10 人		森林機能強化タイプ	6 林班ろ準林班 2、3 小班的雑草刈払い	281014、281015、281016	A006
28. 10. 30	8～12 時	4 時間	8 人	4 人	地域環境保全タイプ (里山保全)	5 林班は 1、2 小班的雑草の集積、処理 (処理場までの運搬)	280921	A007
29. 2. 8-9						5 林班は準林班 1 小班的雑草刈払い・処理 (作業委託 0.5ha)	290208、290209	A008
29. 2. 10	8～17 時	6 時間	10 人	5 人	地域環境保全タイプ (侵入竹除去)	5 林班い準林班、ろ準林班 1、2、3 小班的侵入竹の除去・ 処理開始 (チップ処理、遊歩道への敷設)	290210	A009

同一の活動日に複数の写真を整理する場合は枝番を加える
260423-1、260423-2

活動場所が複数ある場合は、その日の活動場所も記載する

(別添1)

作業写真整理帳

活動上、重要部分については作業写真整理帳に整理する。(例：各活動タイプ別に整備前後の状況等、活動の実態の概要がわかる写真等)

NO

組織名 〇〇の森保全の会

写真番号：280423-1

該当する活動項目にチェックする

写真添付	活動項目をチェックする	① <input type="checkbox"/>	② <input type="checkbox"/>	③ <input type="checkbox"/>
		④ <input checked="" type="checkbox"/>	⑤ <input checked="" type="checkbox"/>	⑥ <input type="checkbox"/>
取組内容		森林資源利用タイプ・教育・研修活動タイプ (間伐・炭焼き体験)		

活動場所が複数ある場合は、その日の活動場所も記載する

写真番号：280423-2

写真添付	活動項目をチェックする	① <input type="checkbox"/>	② <input type="checkbox"/>	③ <input type="checkbox"/>
		④ <input checked="" type="checkbox"/>	⑤ <input checked="" type="checkbox"/>	⑥ <input type="checkbox"/>
取組内容		森林資源利用タイプ・教育・研修活動タイプ (間伐・炭焼き体験)		

写真番号：290210

写真添付	活動項目をチェックする	① <input type="checkbox"/>	② <input type="checkbox"/>	③ <input checked="" type="checkbox"/>
		④ <input type="checkbox"/>	⑤ <input type="checkbox"/>	⑥ <input type="checkbox"/>
取組内容		5林班い準林班、ろ準林班1、2、3小班の侵入竹の除去・処理開始(チップ処理、遊歩道への敷設)		

活動項目

- ①：活動推進費
- ②：地域環境保全タイプ（里山林保全）
- ③：地域環境保全タイプ（侵入竹除去・竹林整備）
- ④：森林資源利用タイプ
- ⑤：森林機能強化タイプ ⑥：教育・研修活動タイプ

※活動前、活動中、活動後について、それぞれ遠景・近景を撮影すること⑥の場合は、イベントの準備、実施中、実施後の反省会等の写真を添付すること。

(別添2)

作業写真整理帳 (デジカメ写真の場合で主要でないもの)

写真番号	該当取組項目に○						取組内容	整理番号
	①	②	③	④	⑤	⑥		
281001	○						活動推進 林況確認	A001
281001						○	資料作成、標識整備、安全性検討	A002
281024						○	間伐・薪割り体験前打合せ	
281025-1, 2, 3				○		○	間伐・薪割り体験実施 (スタッフ)	A003
281025-4~7							間伐・薪割り体験実施 (森林整備)	A004
281025		○					5 林班は準小班 1、2 小班の雑草木刈払い	A005
281025					○		6 林班は準小班 2、3 小班の作業打合せ	
281030					○		6 林班は準小班 2、3 小班の作業道の改修	A006
281030		○					5 林班は 1、2 小班の雑草の集積、処理 (処理場までの運搬)	A007
281031		○					5 林班は準林班 1 小班 (0.5ha) の作業委託打合せ	
290108			○				5 林班は準林班 1 小班の雑草木刈払い・処理(作業委託 0.5ha)	A008
290205			○				5 林班に小班侵入竹の除去・処理(チップ処理、遊歩道への敷設)	A009

↑
必要があれば記載。

- ① : 活動推進費
- ② : 地域環境保全タイプ (里山林保全)
- ③ : 地域環境保全タイプ (侵入竹除去・竹林整備)
- ④ : 森林資源利用タイプ
- ⑤ : 森林機能強化タイプ
- ⑥ : 教育・研修活動タイプ

写真番号 : 様式第 16 号の備考 (写真番号) と同じ番号にする。
 写真の磁気データは別途保管し求めに応じて速やかに参照できる状態にする。

(様式第 17 号)

平成 28 年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金（金銭出納簿）

日付	タイプ	内容	収入 (円)	立替 (円)	支出 (円)				資機材購入 費のうち交 付金充当額	領収書等 番号	活動実 施日	備考(財産の 保管場所)
					人件費	委託費	その他	資機材の 購入等				
28. 4. 1		活動組織 自己資金		8,000								
28. 4. 5	活動推進費	活動推進 林況調査 人件費 (2,000 円 4 人)		-8,000	8,000					A001	28. 4. 1	
28. 10. 1		交付金受け取り(活動推進費、タ イプ別分)	1,050,000									
28. 10. 1		交付金受け取り(資機材分)	300,000									
28. 10. 1		自己資金	450,000									
28. 10. 2		チェーンソー 2 台 30 万円					300,000	150,000		1		〇〇の森保全の 会の事務所
28. 10. 2		薪割り機 45 万円					450,000	150,000		2		同上
28. 10. 30	教育・研修活 動タイプ	資料作成、標識整備、安全性検討 (2,000 円×4 人)			8,000					A002	28. 10. 25	
28. 10. 30	教育・研修活 動タイプ	間伐・薪割り体験開催等 スタッ フ人件費(4,000 円×8 人)			40,000					A003	28. 10. 25	
	森林資源利 用タイプ	間伐・薪割り体験開催等 森林整 備人件費(2,000×20 人)			80,000					A004	28. 10. 25	

28.10.30	地域環境保 全タイプ(里 山保全)	5林班は準小班1、2小班の雑草 木刈払い 人件費(2,000円 ×20人(午前参加者10人、 午後参加者10人分))			40,000					A005	28.10.25	
28.10.30	森林機能強 化タイプ	6林班ろ準小班2,3小班の作業 道の改修 人件費(2,000円× 10人4日分)			80,000					A006	28.10.14 -17	
	地域環境保 全タイプ(里 山保全)	5林班は準小班1小班の雑草木 刈払い・処理(作業委託0.5ha)				150,000				A008	29.2.8-9	
29.2.15	地域環境保 全タイプ(侵 入竹除去)	5林班は準小班1、2、3小班 の侵入竹除去・処理(チップ処理、 遊歩道への敷設) 人件費 (6,000円×15人)			120,000					A009	29.2.10	
		合計	1,800,000	0	830,000	150,000	70,000	750,000	300,000			本交付金に係 る仕入に係る 消費税相当額 なし

購入したもの、作業内容等、金額の内訳が分かるように記載する。

内容ごとに分かるように領収書等に番号を付ける。

(別紙)

実施状況整理票

都道府県名	地域協議会名	市町村名	対象森林所在市町村名	活動組織名	取組内容								交付金等の使途(円)										備考			
					地域環境保 全タイプ		森林資源利用タイプ(ha)	森林機能強化タイプ(㊦)	間伐等(除伐、枝打ち含む)の実施面積(ha)	当該年度に長期にわたり手入れをされていなかったと考えられる森林を整備した面積(ha)	教育・研修活動タイプ(回)	資機材・施設の整備(円)		収入					支出							
					里山林保全(ha)	侵入竹除去・竹林整備(ha)						交付率 1/2以 内	交付率 1/3以 内	合計	自己負担額	小計(交付金分)	取組に対する交付金	資機材・施設の整備に 対する交付金		合計	人件費	委託料		その他	資機材・施設の整備	
																		交付率 1/2以 内	交付率 1/3以 内						交付率 1/2以 内	交付率 1/3以 内
愛知県	森林・山村多面的機能発揮対策 愛知県協議会	〇〇市	〇〇町	〇〇の森保全の会	3	0.5	0.5	100	3	2	1	300,000	450,000	10	1,800,000	450,000	1,350,000	1,050,000	300,000	1,800,000	830,000	150,000	70,000	300,000	450,000	地方分

(注1) 教育・研修活動タイプで森林環境教育を実施する場合、講師等の氏名を記載すること。 講師：〇〇 花子、〇〇 太郎

(注2) 支出については自己負担額を含めた額を記載すること。